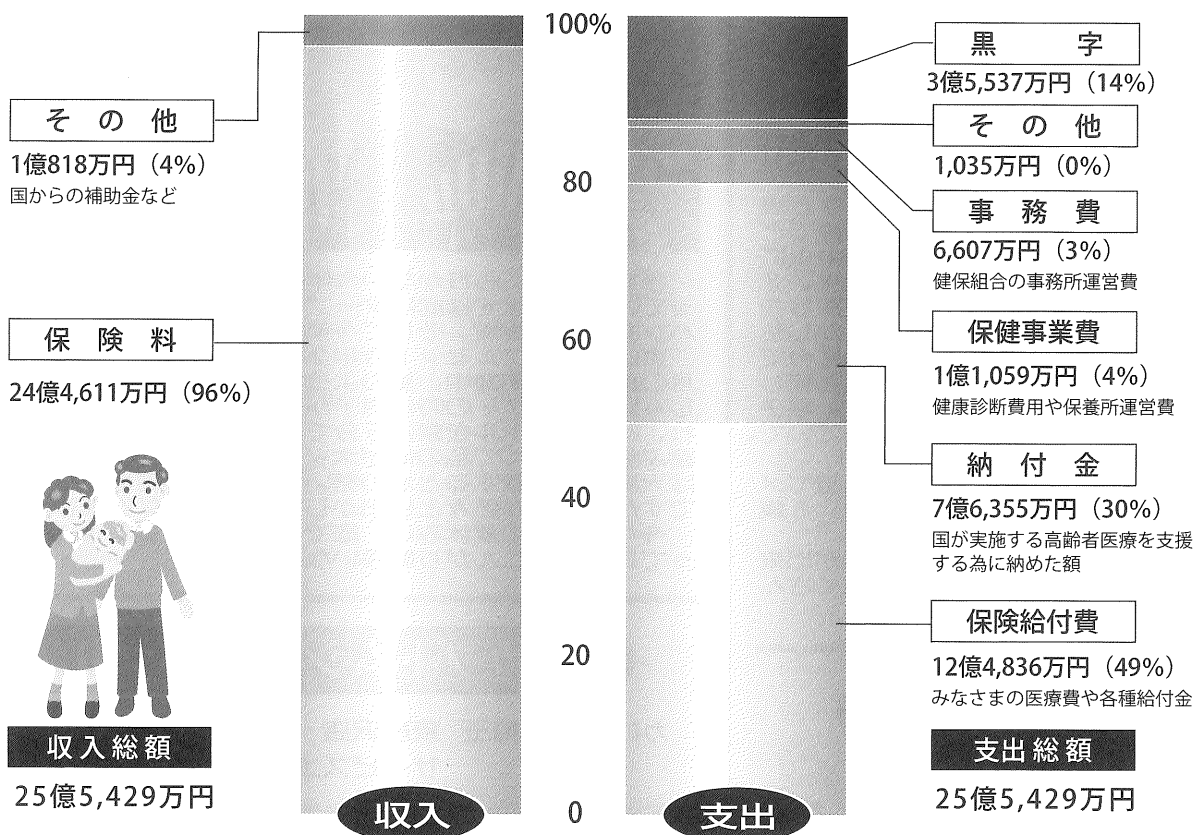


令和元年度決算まとまる

勝又健康保険組合 収支は 3億5,537万円の黒字



○保険証を大切に、退職時には必ず返しましょう
○保険給付支給通知書は大切に保管しましょう
○医療費控除を受ける時必要になります。

◆収入（保険料）

令和元年度における当組合の保険料収入は24億4,611万円前年比6,486万円増加となりました。

保険料算出の根拠となる平均被保険者数は前年比7名減となりましたが、平均標準報酬月額が同4,424円増、総標準賞与額が同48,302万円増となり全体で増収となりました。

	当年度	前年度	増減額
保険料(万円)	244,611	238,125	6,486
平均被保険者数(人)	4,769	4,776	△7
平均標準報酬月額(円)	346,801	342,377	4,424
総標準賞与額(万円)	623,687	575,385	48,302

◆支出（保健事業費・納付金・保険給付費）

主な支出では、保健事業費は前年比89万円微増しました。納付金は前期高齢者納付金が40,841万円減額になりました。これは2年前に支払った納付金が精算となり過払い金が発生したものである。

保険給付費は、6,558万円減額になりました。これは年度後半に医療費、薬剤費の支出が減少が大きな要因で、新型コロナウイルス感染症の予防処置として手洗いうがい等による風邪、インフルエンザ等の感染症が減少した事や、急を要しない手術が延期になっている事などが要因と推察しております。

(単位: 万円)

	当年度	前年度	増減額
保健事業費	11,059	10,970	89
納付金	76,355	117,196	△40,841
保険給付費	124,836	131,394	△6,558

介護保険	
収入	2億7,381万円
介護保険料収入	2億5,117万円
国庫補助金・雑収入	2,264万円
支出	2億4,250万円
介護納付金	2億4,250万円
収支差引	3,131万円
支払準備金(増加)	3,131万円

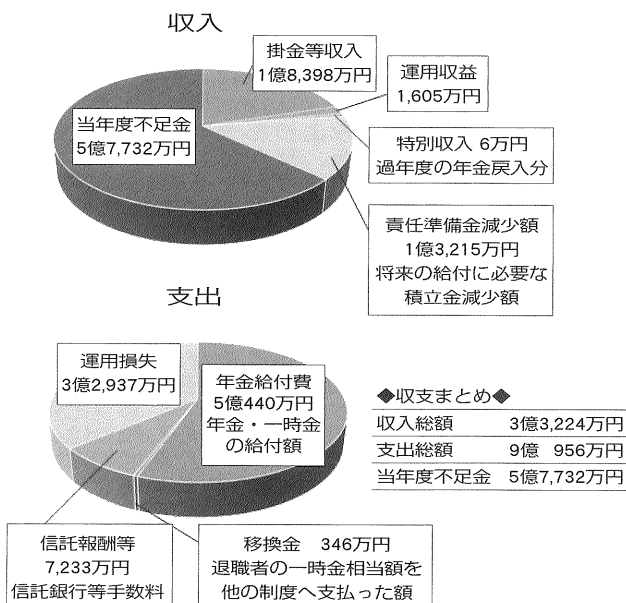
◆収支決算は3億5,537万円の黒字

令和元年度の収支決算は、収入増、支出減の結果35,537万円の黒字となり平成26年度以来です。しかし収入面では新型コロナウイルスによる報酬への影響、支出面では納付金額が減少しましたが、これは一時的で今年度以降も保険料収入に占めるウエイトは30%を超える事が見込まれております。

私たち健康保険組合では、保険給付費の支出を抑えるべく、みなさまの健康維持・増進に取り組んでまいりますのでご理解とご協力をお願いいたします。

勝又企業年金基金

令和元年度の決算についてお知らせいたします。



●運用環境の悪化により利回りは時価ベースで△3.67%

当基金の資産運用利回りは、時価ベースで△3.67%となり予定利率の2.50%を下回った結果、5億7,732万円の当年度不足金を計上することとなりました。これにつきましては、別途積立金20億454万円から5億7,732万円取崩しを行い対応致しました。その結果、別途積立金は14億2,722万円となりました。

●令和2年3月31日時点での掛金の見直しについては不要

掛金率につきまして変更が必要か財政検証を行ったところ、今年度の掛金率の変更は不要という結果になりました。当基金の純資産額が92億5,740万円あり、将来給付に必要な資産が基準値以上で確保出来ているためです。しかしながら、今後の情勢によっては掛金率の変更が必要となる可能性があります。

●資産運用の状況について

昨年度を通じては比較的安定した状況を維持してまいりましたが、3月末に新型コロナウイルスの影響が大きく出た結果、利回りはマイナスとなり運用損失を3億2,937万円計上致しました。その結果、3月末の時価総額は94億7,896万円でした。今後につきましては、先が読めないような状況ではありますが、引き続き分散投資を心掛け安定した運用に努めてまいります。皆様のご協力をお願い致します。